

「夢のかけらを くもにまく TAKARABUNE 2023」開催要項

- 1 展覧会名：夢のかけらを くもにまく TAKARABUNE 2023
- 2 会期：2023年3月15日(水)～19日(日) 各日とも10時～17時30分（ただし最終日は15時まで）
- 3 会場：埼玉県立近代美術館 地階一般展示室 1（さいたま市浦和区常盤9-30-1）
- 4 主催：SMF（サイタマミュージーズフォーラム） 共催：埼玉県立近代美術館（予定）
- 5 観覧料：無料
- 6 趣旨：

SMF（サイタマミュージーズフォーラム）は、2008年から2017年まで埼玉県立近代美術館が文化庁の支援を得て実行委員会形式で行ってきた事業から生まれました。SMFは、美術、音楽、ダンス、建築、文学など、さまざまな分野のメンバーが集い交流する自由な集まりであると同時に、身近な場所でアートを楽しみ、支援し、再創造するためのプラットフォームづくりをめざすプロジェクトでもあります。

「宝船展」は、実現したいと思うアートプロジェクトの素を夢として自由に語り表現するアンデパンダン形式の展覧会で、だれでも参加できるアートのプラットフォームをつくる活動を継続してきたSMFを象徴する企画のひとつです。「宝船展」に並んだ様々な作品やアイデアが、意外な人との出会いによって新たに動き出し、幾つもの興味深い活動がここから発生し実現されてきました。こうした企画を通じてアートに親しむ人たちの交流が豊かになり、埼玉県のアートシーンの人と人とのネットワークによる強い連携が構築出来ると考えています。また社会に開かれた活動という埼玉県立近代美術館の活動指針に合うものと思います。みなさまのご来場ご参加をお待ちしています。
- 7 出展者：SMFメンバー、アート長屋入居者、協力アーティスト、他。総勢25～30名（組）予定（本展の趣旨に賛同していただける方なら、ジャンル、経験を問わず、どなたでも参加できます。）
- 8 出品作品：アートプロジェクトの素となる「夢のシート（エントリーシート）」やマケットに加え、関連する実作品やインスタレーション、プロジェクトの記録など、多彩な展示を想定しています。
- 9 アートの素・パントリー／自由創造・ワークショップ：会場内にオープン・アトリエ・スペースを設け、出展者、来場者、素材提供者、市民が、様々な素材を用いたアートの創造活動を通してつながる場づくりを目指します。
- 10 関連事業：会期中にアーティストトーク、ワークショップ、交流会等を開催し、出展者と観客、出展者相互のコミュニケーション、意見交換を図り、プロジェクトの発芽を促す一助とします。
- 11 記録集：各出展者の出展記録を終了後A4判2ページにまとめていただき、記録集を作成、印刷製本し出展者・関係者に配布するとともに、Web上で公開します。
- 12 その他：万一コロナの感染拡大が懸念される状況が生じた場合には、美術館の要請に従い、来場者のマスクの着用に加え、手指の消毒や検温、連絡先の記入、入場者の制限、会場イベントのオンライン化など、必要な措置を講じます。
- 13 問合せ：メール takarabune2023.info@artplatform.jp（三浦・中村）
TEL 090-6138-4821（三浦）、090-2143-5243（中村）／ FAX：048-885-7859（三浦）